

# 「知らないうちに、コピーされていますか」 デジタル・ネット社会だからこそ 偽造・複写防止印刷のプロが活躍！

鮮明堂印刷

偽造・複写防止セキュリティデザインソフトを10種類所有する鮮明堂印刷(品川区豊町、藤井清三社長、03・3492・3641、Eメール senmeido@giga.ocn.ne.jp)は、複製不可の重要書類、冊子の制作を得意としている。

藤井社長は、「デジタル時代だからこそ求められる偽造・複写防止印刷の重要性について、具体的な事例とともに、次のようにご提案していく。

「弁護士事務所・会計事務所からの重要書類は、必要部数を紙ベースで受領します」

「重要なPCをネット回線にはつなげないコンピュータシステム関連で、独自のコピーガード用紙

をご使用いただくと、お取引先様との信頼をさらに深められると思います」

「病院で医師が処方する院外処方箋にはコピーガード用紙を使用すべきです。通常のコピー用紙では複数の院外薬局で薬を取得できずしてしまいます。また、ペースメーカーなど医療器具の購入発注用紙には患者様の個人情報詳しく記載されますので、コピーガード用紙の必要があります」

「大学の科目別教科書は印刷部数が少なく、また先輩より譲り受ける、コピーで代用など収支があまり取れない現状です。収入確保のため、教科書本文中に課題と提出用紙をコピーガード用紙にて組み込む対策はいかがでしょうか」



偽造防止見本絵柄

「研究所で使用されている研究ノートに、より使いやすく管理のしやすい独自のコピーガードデザインをご提案します」



俳句自費出版資料室の蔵書目録

また、同社は戸越銀座商店街に俳句自費出版資料室を所有し、上製本・並製本の句集を約7,000冊展示している。記念に句集や自分史をつくりたいとお考えの方は、ぜひご用命ください。